

市町村名	西原町
------	-----

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	水難救助車整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防衛体制の強化
担当部課名	東部消防組合	総務課	事業実施 年度	令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
	Ⅲ-10-(2)				

事業内容
海水浴やマリレジャーを楽しむ観光客等ビーチ利用者の水難事故や災害への消防活動の機能強化を図るため、水難救助車の整備を行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度				合計
	A. 予算現額	34,694				34,694
	B. 執行済額	34,694				34,694
	うち 交付金充当額	27,755				27,755
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%
執行状況の説明	事業計画のとおり、令和3年度で予算執行済みである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R3年度				
水難救助車の配備(1台)	目標	1台				
	実績	1台				
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		R3年度				
水難救助車の配備完了(1台)	目標	(水難救助車の 配備完了)				
	実績	(水難救助車の 配備完了)				
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R4年度				
	・水難救助訓練(35回/年)	目 標 実 績	35回 30回				
	目 標 実 績						
状況説明	【令和4年度】 ・コロナの影響でビーチの利用者は減少したが、迅速に救助活動に入れるよう水難救助体制を強化するための訓練(30回/年)を行ったが、目標値より下回った。 ・各警備課で水難救助隊員を中心に車両取扱い訓練を実施。迅速で効率的な活動を行える体制づくりを行った。 ・水難車の出動件数は3件で、事故後時間が経っており死亡確認等の活動となる。 ・海開きやハーリー、関係機関との合同訓練等のイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止や規模縮小の理由により参加なし。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【令和4年度】 ・年30回の潜水訓練にて車両及び資器材の取り扱い訓練を実施。 ・迅速出動につなげることが可能になった。 ・夜間の水難事故事案時に、照明器具を使用し早期の要救助者の発見に至った。 ・1台の車両でまとまって出動することで車内ミーティングが可能となり、現場到着後すぐに救助活動を開始することが出来た。	【令和4年度】 ・陸上で活動を行う隊員の車両操作、資器材取扱訓練が少なかったため、各隊員の習熟度向上を図る必要がある。
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【令和4年度】 ・数ある資器材の取り扱い訓練、車両取扱い訓練の実施。イベント等や他消防本部との合同訓練を実施し安心してビーチ利用ができることをアピールし観光振興に寄与する。
